

# 経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

熊本県 大津町

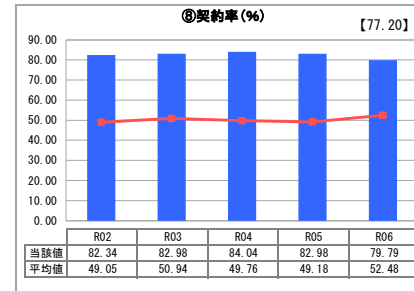
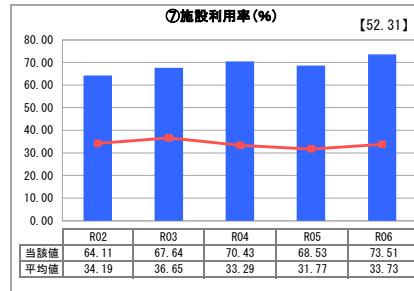
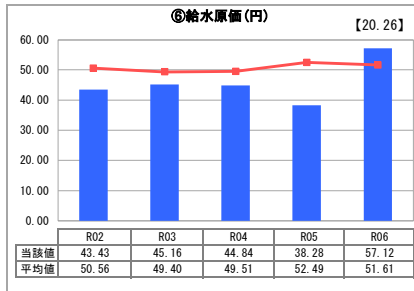
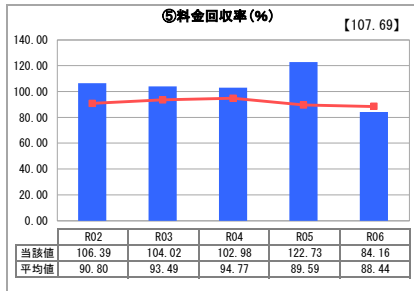
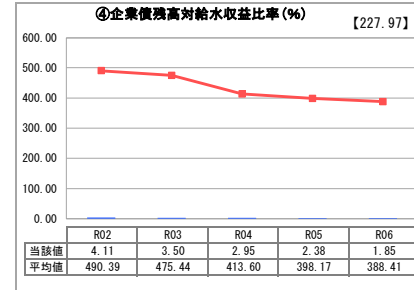
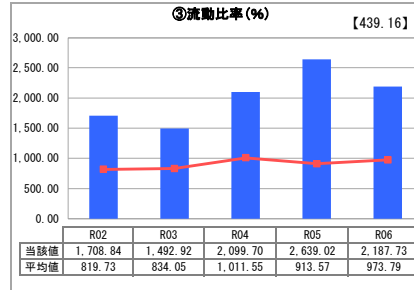
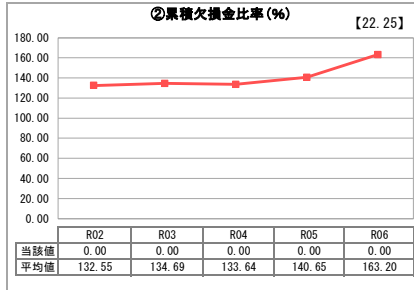
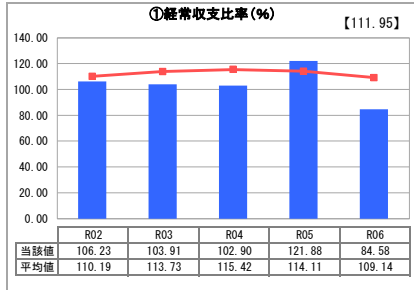
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	4,700	極小規模	1	3,455
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	97.5	6	3,750	非設置	

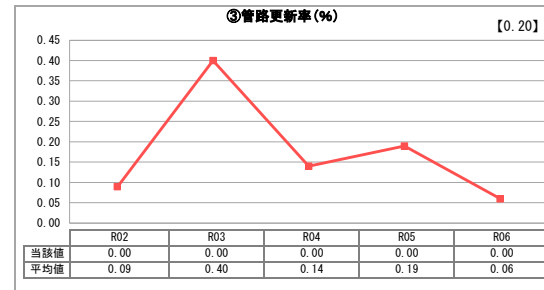
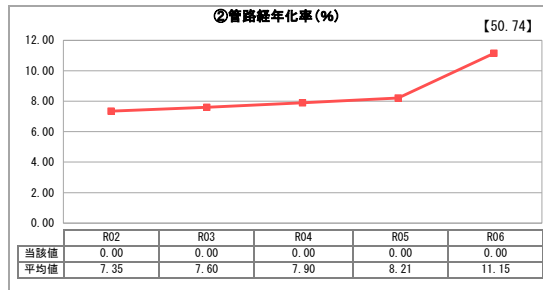
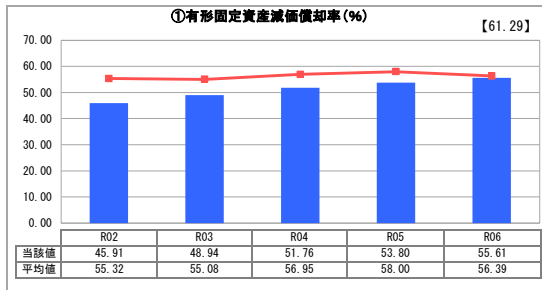
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
一時的な修繕費の増で100%を下回ることとなりましたが、来年度以降は大規模な修繕等の予定はなく良好な状態に回復するものと考えます。

②累積欠損金比率  
累積欠損金の計上はなく良好です。

③流動比率  
類似団体と比較しても大幅に高い値となっており、短期的な支払い能力は十分保持しています。

④企業債残高対給水収益比率  
殆ど企業債の償還は済んでおり低い値となっています。なお、新水源地の整備等の際は、適宜企業債の借入れを行なうこととしています。

⑤料金回収率  
基本的に給水費用は給水収益で賄っています。本年度は、一時的な修繕費の増により類似団体を下回ることとなりましたが、来年度以降は回復するものと考えます。

⑥給水原価  
一時的な修繕費の増により類似団体を下回る値となりましたが、水質が良好で一定な地下水が水源であることから、電気料金増の影響はあるものの基本的に類似団体を上回る値を見込んでいます。

⑦施設利用率  
類似団体と比較しても高い値となっており、施設の有効利用ができています。

⑧契約率  
類似団体と比較しても高い値を維持しており、有効な契約率となっています。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
固定資産の老朽化が進んでおり、類似団体とほぼ同程度の値となっています。施設の更新計画を策定し、継続的に施設の更新を進めていますので、引き続き必要な更新を進めていくこととしています。

②管路経年化率  
現在までに法定耐用年数を経過した管路はないが、今後、更新計画に基づく更新を進めていくこととしています。

③管路更新率  
現在までに法定耐用年数を経過した管路はないため、管路の更新を行った実績はありません。

### 全体総括

本年度は一時的な修繕費の増による影響がありますが、基本的に経営の安全性、効率性について指標から分析すると、概ね健全な経営ができています。ユーザー企業からの契約水量増の要望もあつていことから、新たな水源地の整備を進めていくとともに、老朽化が進んだ施設の更新について更新計画に基づき行っていきます。今後も引き続き、給水収益による効率的な事業運営に努めるとともに、企業債も活用しながら施設の整備等を進め、経営の健全性の向上を推進していきます。